

# 28年7月分 素材生産業者の活動・先行き動向調査

1. 調査実施期間 平成28年7月1日～ 28年7月10日

## 2. 調査実施方法

全国の素材生産業者に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。  
7月分の回答企業数は8社である。

## 3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-{「減少」の評価を行った回答の割合}×2-{「やや減少」の評価を行った回答の割合}÷2  
したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

## 4. 調査結果の概要

### 素材生産動向

品目		28/7月	8月	9月
伐採動向	スギ	0.0	20.0	20.0
	ヒノキ	△ 20.0	△ 20.0	△ 10.0
	カラマツ	25.0	25.0	0.0
	エゾ・トド	0.0	0.0	0.0
出荷・販売動向	スギ	0.0	0.0	10.0
	ヒノキ	△ 12.5	△ 12.5	0.0
	カラマツ	25.0	25.0	0.0
	エゾ・トド	0.0	0.0	0.0
手持立木在庫動向	スギ	20.0	0.0	30.0
	ヒノキ	0.0	△ 12.5	12.5
	カラマツ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	エゾ・トド	△ 25.0	25.0	25.0

・スギの伐採は7月の横ばいが、8月、9月は増加。ヒノキは3ヵ月連続して減少。カラマツは7月、8月の増加が、9月は横ばい。エゾ・トドは3ヵ月連続して横ばい。

・スギの出荷は3ヵ月連続して横ばい。ヒノキは7月、8月の減少が、9月は横ばい。カラマツは7月、8月の増加が、9月は横ばい。エゾ・トドは3ヵ月連続して横ばい。

・スギの立木在庫は7月の増加が、8月は横ばい、9月は再び増加。ヒノキは7月の横ばいが、8月は減少、9月は増加。カラマツは3ヵ月連続して減少。エゾ・トドは7月の減少が、8月、9月は増加。

### モニターからのコメント

#### (伐採動向)

- ・国有林の素材生産請負の現場で伐採に入る(北海道)。
- ・主伐から間伐へ(中国)。

#### (出材・販売動向)

- ・大きな変動はないが、円高の影響が気になる(北海道)。

#### (手持ち立木在庫)

- ・立木在庫が少なくなっているため、国有林の立木販売で購入予定(北海道)。
- ・間伐・主伐材を購入予定(関東)。